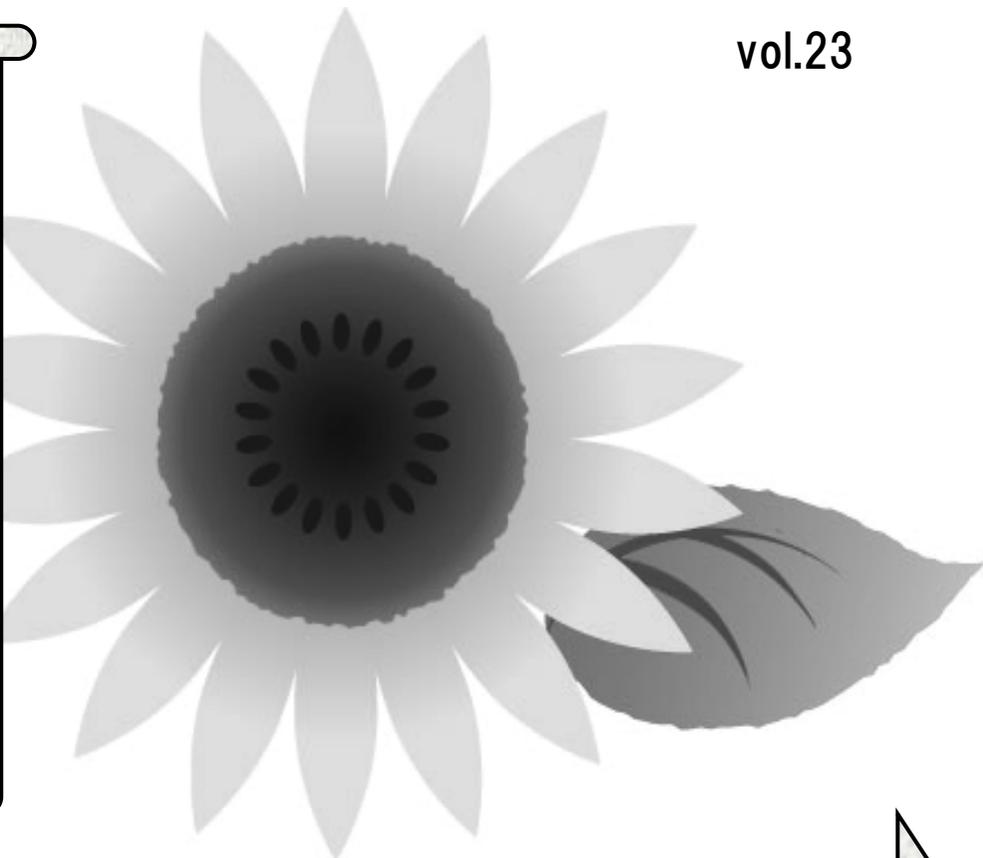


# NASCA

## 自治会総合情報誌

vol.23

これからの自治会活動の方針が  
決まりました！



学生のみなさんからお預かりした自治会費がどのように使われるのかなどなど……学生生活を送る上で知っておきたい知識が盛りだくさんです！

OPEN!

# 2010年度前期自治委員会総会報告号

中百舌鳥キャンパス学生自治会

## はじめに

中百舌鳥キャンパス学生自治会（以下、学生自治会）は、“学生とともに” 学生生活をよりよくすることを目的として活動しています。そのためには、学生自治会が行う活動が本当に学生のためになっているのか、学生全員で考えていく必要があります。そこで、学生のみなさんに自治委員会総会で学生自治会の方針を示し、その方針が学生生活をより良くするかを判断してもらいます。この冊子では、主に2010年度前期自治委員会総会で行われたことを紹介します。



# 目次

中央執行委員会とは	…P. 2
中央執行委員会役員紹介、新委員長挨拶	…P. 3
決議に関する項目	
・ 要望書交渉に関する活動	…P. 4
・ 大学改革に関する活動	…P. 6
・ りんくうキャンパス移転に関する活動	…P. 8
・ 情報宣伝・収集活動について	…P. 9
・ あの～。“大型PA”って知ってますか？	…P. 14
・ その他にも決議にはこんな項目がありました！！	…P. 17
決算報告 予算案提議	…P. 19
みなさんのギモンいけんに回答します！	…P. 26
コラム・熱中症にご用心！	…P. 33
コラム・緊急！警備が強化されました！	…P. 35

### ○決議案提議

学生自治会のこれまで半年間の活動を報告し、またこれから半年間の活動方針を提示し、採決をとり賛成多数で可決されました。

### ○決算報告・予算案提議

自治会費をこれまで1年間どう使ってきたかを報告し、またこれから1年間どう使っていくかを提示し、採決をとり承認されました。

### ○次期中央執行委員会役員選挙

自治会活動を行う上で中心となる、中央執行委員会の役員を選出しました。

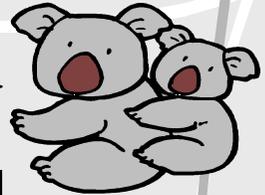
### ○会計監査委員選出

学生自治会の会計に不正や誤りがないことを監査する、会計監査委員を選出しました。

→次ページからわかりやすい説明がありますので、ぜひご覧ください。

# 中央執行委員会とは

ここでは中央執行委員会がどんな役割を果たしているかということと、その構成役員の役割を説明します。



## 中央執行委員会の役割

中央執行委員会は自治委員会総会に次ぐ議決機関であり、執行機関です。自治委員会総会での決議に基づき短期間の活動方針を決定し、その活動を執行しています。

中央執行委員会の役員は原則、委員長1名、副委員長2名、書記長1名、書記次長1名、執行委員若干名により構成されています。また、メンバーは前期自治委員会総会にて選挙により選ばれています。

## 中央執行委員会役員の仕事

- 委員長** 学生自治会の代表であり、学生自治会をまとめています。また、学生団体のまとめ役も務めており、学生団体間の連携を図る上で中心となります。
- 副委員長** 要望書担当と情報部長の1名ずつの計2名です。要望書担当は、毎年秋頃から行われる要望アンケートや要望書案作成など、要望書にかかわる業務全般を担います。情報部長は、日頃の学生自治会の情報宣伝・収集活動の指揮を担います。また、委員長が職務を遂行できない事態が起こった場合は、その職務を代行します。
- 書記長** 学生自治会の会計を担当しています。また、学生自治会が所有する物品を管理しています。
- 書記次長** 書記長の補佐役です。書記長が職務を遂行できない事態が起こった場合は、その職務を代行します。
- 執行委員** 学生自治会内の各学部の役員（クラス役員）と中央執行委員会を繋ぐパイプ役です。

# 2010年度

## 中央執行委員会役員

委員長	根岸 信太郎	工学部	電気情報システム工学科	2 回生
副委員長	開作 直樹	工学部	知能情報工学科	2 回生
	押野 玲奈	理学部	生物科学科	2 回生
書記長	西田 大記	経済学部	経済学科	2 回生
書記次長	植野 裕久	生命環境科学部	植物バイオサイエンス学科	2 回生
執行委員	大森 真慧	経済学部	経営学科	2 回生
	海瀬 匠弥	人間社会学部	人間科学科	2 回生
	葛山 祐子	工学部	航空宇宙工学科	1 回生
	上田 陽介	工学部	応用化学科	1 回生
	東 尚史	生命環境科学部	生命機能化学科	1 回生

## 新委員長挨拶

6月17日(木)に開催された前期自治委員会総会にて、新しく委員長に就任いたしました、工学部電気情報システム工学科2回生の根岸信太郎です。

現在、府大は大学改革という、大きな変化の中にあります。その変化の理由のひとつは時代に即した大学に生まれ変わっていかうというポジティブな側面、もうひとつには昨今の不況による大学の資金繰りの悪化というネガティブな側面。どちらも大学を運営していく上で重要ですが、その事態を乗り越えていくための改革という方策によって、私たち学生に悪い影響がもたらされるという事態は、なんとしても避けるべきです。よりよい学生生活の実現を目指す学生自治会としては、そういった事態を見過ごすわけにはいきません。そのため決議にもあるように、大学に対して現在の学部生の教育の質の保証はもちろん、学部再編によって縮小されてしまうといわれている学問の維持を求めています。

たとえ学生一人ひとりの声は小さくても、みんなで声を合わせることで大きな声になり、それが大学を変えうる大きな力を持つのです。そのためにはみなさん一人ひとりの積極的な協力が必要です。どんなに些細なことでもかまいませんので、積極的に意見を発し、学生自治会とともによりよい学生生活を実現させていきましょう！

# 要望書交渉に 関する活動

ここでは前期自治委員会総会決議の項目の1つである『要望書交渉に関する活動』を説明します。

要望書交渉とは、学生が日頃から抱えている不満・要望を大学に訴え、その実現を目指す活動です。これまでに、シュライクの新設や食堂の増改築・図書館の開館時間延長などが実現されています。

ここを読んで、ぜひ『要望書交渉』についての理解を深めてください。

## 要望書交渉って何のためにやるの？

学生一人一人が大学に不満・要望を伝えたとしても、学生の要望は多種多様であるため、それらを全て実現することは現実的に不可能であると考えられます。さらに、学生がどの要望を優先的に実現してほしいと考えているかを大学が判断することも難しいと学生自治会は考えます。そこで、学生自治会は学生の不満・要望をあつめ、学生にとってより切実である要望をまとめ、要望書を作成し大学と交渉します。そうすることで、優先して実現されるべき要望が何なのかが大学に伝わり、それらの実現がより現実的なものになるのです！！

## 学生から不満・要望を集める活動 ——要望アンケート

学生自治会は要望書交渉を行うにあたり、アンケートを用いて学生のみなさんが日頃から抱えている不満・要望を集め、それを基に要望書を作成します。全学的にアンケートを実施することでみなさんの不満・要望を調査し、学生の状況をできる限り正確に把握することができます。そうすることで、より学生の現状を表すことができ、学生生活を向上させる上でどういった要望の実現が望まれているのかがわかりやすい要望書を作ることができます。

先にも述べましたが、今までの要望書交渉ではウォータークーラーや各講義室・図書館へのクーラーの設置、道路の破損箇所の修繕、学費の現状維持などを実現してきました。今年度は大学改革のこともあり、学生の抱く要望は多岐にわたると考えられます。それらを実現するためにも、みなさんの要望アンケートへの協力をお願いします。

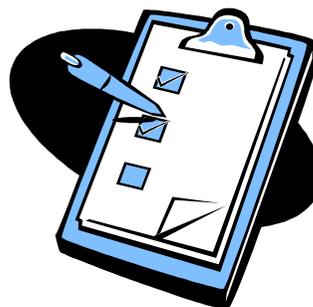
なお、学費や奨学金制度に関するものなど、全学生の学生生活に共通する話題に関しては、羽曳野キャンパスでも実施します。

## 学生の不満・要望をまとめたもの

### ——要望書

寄せられる意見の中には、多数であっても学生のエゴだと捉えられる意見もある一方で、ごく少数であっても切実な意見もあります。それらの意見をまとめ、要望書案を作成します。この要望書案が後期自治委員会総会で可決されることで、学生の総意に基づいた要望書となります。

寄せられた要望の中には、文書だけではその要望の内容が具体的にどのような状況であるかを大学に伝えることが困難なものもあります。学生自治会はその要望を説明する際に説得力を持たせるためにその要望に関して調査し、写真や他大学との対比資料などを掲載した要望書資料を作成します。また、要望アンケートに寄せられた全意見も要望書資料に掲載します。この要望書資料は要望書とともに参考資料として提出されます。



# 大学改革に関する活動

ここでは、2010年度前期自治委員会総会決議【大学改革に関する活動】のうち、学生自治会のこれからの活動について説明します。また次のページでは、学部再編で重要だと考えられる『現代システム科学域』について説明します。

## ・ 学生自治会のこれからの活動

昨年12月、大学は大学改革案を公表し大阪府に提出しました。その直後に大学による全学生対象の説明会が開催されました。しかし、その後教育研究組織や教員組織などについての具体的な指針が公表されたにも関わらず、大学はそれについての説明会を開催していません。改革に関して何か進展があれば、学生に対して説明し意見を募るために、大学は説明会や意見交換会を開催する必要があると考えます。学生目線の意見が反映されることで、受験生からみても魅力的な大学になり、大学の存在価値を高めることができるからです。そのため学生自治会は、大学が学生の声を積極的に聞くように働きかけ、学生の意見が改革の方針に取り入れられるように求めています。

学部再編によって現在の7学部制は廃止され、新たに4学域（現代システム科学域・工学域・生命環境科学域・地域保健学域）が設置されることになっています。しかし、多くの大学が総合大学化を行い、自大学の価値を高めようとする中で、あえて文系を縮小し理系中心の大学へ再編するという改革方針に学生自治会は疑問を抱きました。また、文系・理系両方の専門的な学問が存在することで、教育・研究の厚みが増し、学部再編の要である文理融合型の学域『現代システム科学域』の存在価値が高まると学生自治会は考えました。そのため学生自治会は、学部再編によって消滅すると考えられる経済学部・人間社会学部・理学部の3学部の機能を可能な限りそのままの形で移行することを大学に訴えています。

また学生自治会は、改革の進展状況に応じて活動するとともに、改革に対する学生の考えをアンケートやHPの掲示板などで継続的に収集することで、より多くの学生が望む改革の形を大学側に提言していきます。さらに、学生自治会は改革に関する最新の情報を入手するように努め、学生に関係のある重要な情報はHPやNASCAなどの情報宣伝の手段を通して学生にできるだけ早く伝わるようにします。

# 現代システム科学域とは？

大学改革の一環である学部再編によって『現代システム科学域』が設置されることになっています。今年3月に大阪府が作成した『大阪府立大学の改革指針』では、現代システム科学域は学部再編のコアとなる学域だとされています。他の学域が現在の学部の研究・教育内容をベースにするのとは異なり、この学域は様々な分野を融合させた領域を扱う研究・教育組織として新たに設置されます。また、他学域に副専攻としてカリキュラムを提供する点でも、他の学域とは異なる意味合いを持つと考えられます。

現代システム科学域は3つの学類で構成されます。改革指針の中では、各学類のキーワードが以下のように示されています。

学類名(仮称)	教育研究内容のキーワード
知識情報システム学類	高度情報化社会、未来予測、リスク分析、メディア、社会サービス、システムデザイン、コミュニケーションデザイン、言語情報、画像情報
環境システム学類	調和、共生、社会環境、環境デザイン、地球環境、生態系、環境倫理、環境システム、人間発達環境、環境経済
マネジメント学類	市場モデル、技術モデル、マネジメントシステム、ダイナミズム、エンジニアリング・システム、生産システム、企画、プレゼンテーション

改革指針によれば、グローバル化が進み多様な問題が複雑に影響し合う現代社会の中で、それらの課題を自ら発見し解決する『システムの思考力』の育成がこの学域の目標であるとされています。また『理系をベースに文系を融合させた学域』として、各分野の専門性に加え、マネジメントや国際性を兼ね備えた学生の育成もこの学域が果たす役割であるとされています。

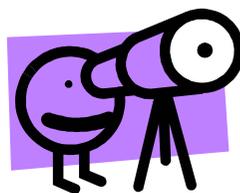
## ・ おわりに

現在の学部生の教育・研究については、卒業まで保障するとされていますが、大学改革により教育研究組織や教員組織などが根本的に変わることになれば、現学部生にも少なからず影響が出ると考えられます。学生の意見が十分に取り入れられ、よい改革となるように学生ひとりひとりがこの問題について考え、声を上げることが大切です。



# りんくうキャンパス移転に関する活動

ここでは学生自治会の、りんくうキャンパス学生会（以下、学生会）とりんくうキャンパスに関する活動についての今後の方針の説明と、今年6月に学生自治会がりんくうキャンパスで行った課外活動に関するアンケートの結果を報告します。これらは2010年度前期自治委員会総会決議の【りんくうキャンパス移転に関する活動】に基づいた内容となっています。



## \* 学生会の誕生と学生自治会の関係 \*

2008年度前期、学生自治会は獣医学科の学生を対象としてアンケートを実施しました。その結果、りんくうキャンパスの学生の意見・要望を大学に伝えることの重要性や学生自治会の必要性を訴える意見が寄せられたため、学生自治会はりんくうキャンパスでの自治組織の設立やその支援について検討しました。そこで、2009年の1月にりんくうキャンパスの学生に向けて、有志の学生による学生会の設立を呼びかけました。同年4月からは学生会の協力の下で学生生活の現状把握を行ってきました。

**現**在、学生会は人員不足が顕著であり、今後継続して活動を行うのが困難です。また、りんくうキャンパスは中百舌鳥キャンパスから離れた所にあるために学生自治会が活動するのが困難です。

この現状に対して、以下の案が選択肢として挙がりました。

- ① 学生会の活動を支援し学生会が独立できる体制を整えることで、学生会が継続してりんくうキャンパスの学生に根ざした活動をしていけるようにする。
- ② 学生会に比べ人手の多い学生自治会が主体となってりんくうキャンパスの学生を対象とした活動をしていく。

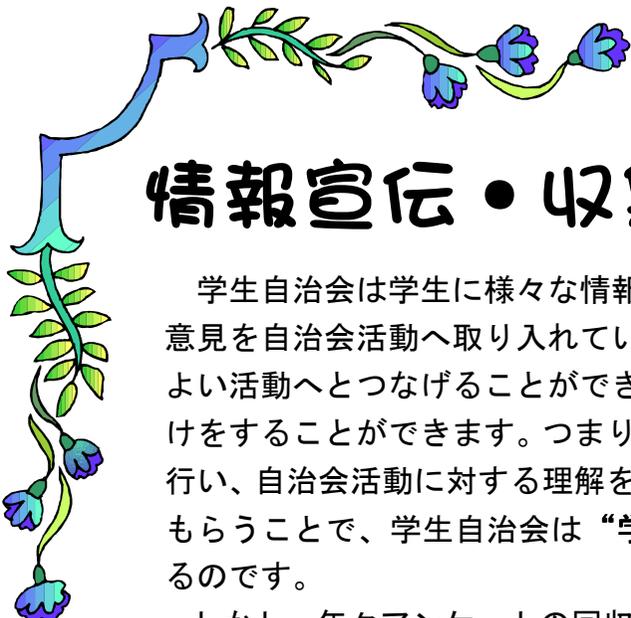
学生自治会は①②のどちらを選択していくのが望ましいのか、情報収集活動の中で得られる意見やりんくうキャンパスの状況などを考慮した上で判断し、後期自治委員会総会までにこれについての学生自治会の活動方針を決定します。

**ま**た、生命環境科学部獣医学科のりんくうキャンパスへの移転から一年が経ち、実際に移転したことで新たに出てきた意見や要望があると学生自治会は考えています。

そこで、定期的なアンケートの実施や学生会との話し合いなどを通じて、りんくうキャンパスの実態を把握するべく、情報収集活動を行います。この情報収集を踏まえて、学生自治会から学生会への協力やりんくうキャンパスで学生にとってどういった活動が有益なのか検討します。

**移**転によって受けた影響について学生会と話し合いを重ねていく中で、特に課外活動について調査をすることにしました。そして、今年6月上旬にアンケートをりんくうキャンパスの学生に対して実施しました。

このアンケートの結果として、「りんくうキャンパスのサークルに所属しているが、付近の設備を利用する際の設備利用費で苦労している」「中百舌鳥キャンパスのクラブに所属しているが、りんくうキャンパスから中百舌鳥キャンパスへの交通費が高く、負担になっている」などの意見がありました。このように寄せられた意見を踏まえて、りんくうキャンパスで学ぶ学生の課外活動が充実するような活動を検討していきます。



# 情報宣伝・収集活動について

学生自治会は学生に様々な情報を発信し、またみなさんから寄せられた意見を自治会活動へ取り入れています。そうすることで自治会活動をよりよい活動へとつなげることができ、より充実した学生生活を実現する手助けをすることができます。つまり、学生に自治会活動について情報宣伝を行い、自治会活動に対する理解を深めてもらい、また学生に意見を発してもらうことで、学生自治会は“学生とともに”活動していくことができるのです。

しかし、年々アンケートの回収枚数は減少しており、また意見箱 BOX の利用状況も芳しくありません。つまり学生自治会に寄せられるみなさんからの意見が減少しているのです。この現状を学生自治会に対する学生の関心が低下している、そして学生自治会の情報宣伝がうまく機能していないために、学生の意見が集まりにくくなっていると学生自治会は考えました。

そこで、みなさんが情報をより受け取りやすく、また学生自治会の活動を理解した上でより意見を発しやすくするために、学生のみなさんに学生自治会がどのような手段を用いて情報宣伝・収集活動を行っているのかを知ってもらおうと思います。



## 情報宣伝・収集活動って どんなことしてるん？

- 意見箱 BOX の設置
- 自治会総合情報誌『NASCA』の配布
- ビラの配布（朝・昼）& 昼の情報宣伝
- ポスターの掲示
- 立て看板の設置
- 電子情報掲示板（WebSC）
- 学館下装飾&横断幕の設置
- 学生自治会の HP
- その他

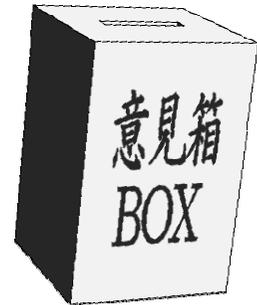


次のページへ GO!!

## ◎情報収集活動について

### 意見箱BOXの設置

自治会活動の基盤ともいえる“学生の意見”を集める重要な手段の1つです。普段学生自治会はこの意見箱BOXを通して学生の意見をまとめており、寄せられた意見は学生自治会で話し合い、自治会活動に反映させる、大学・生活協同組合に伝えるなどしています。また寄せられた意見の回答は意見箱BOX付近にある掲示板、NASCAや学生自治会HPの意見箱の項目に載せてあります。中百舌鳥キャンパスにはB12棟学生会館1階タダコピ横・C5棟学術情報センター図書館入口付近の2ヶ所、りんくうキャンパスには2階第2講義室前のスペースに1ヶ所、意見箱BOXを設置してあります。ふと思ったこと・考えたことなど、みなさんの意見をどんどん投稿してください。



## ◎情報宣伝活動について

### 自治会総合情報誌「NASCA」



今読んでいるこの冊子のことです。自治会活動についての様々な情報や学生にとって有益な情報が載っています。重要な行事や活動の前後などに配布しているので、学生自治会がいつどのようなことをしているのかを把握しやすくなっているかと思います。主に授業前の時間を利用しての配布や、研究室への配布をしていますが、学生自治会室（B12棟2階）にお越しくださいればいつでもお渡しできます。

## ビラ配り&昼の情報宣伝

主に学生生活に関わる重要なイベントがある時に行っています。朝と昼に行っており、朝は中百舌鳥門・白鷺門で1コマ前(8:30~)に、昼はB12棟・生協・食堂周りを中心に昼休み中(12:15~)にビラを配っています。また朝にはプラカード・看板を、昼にはマイクを使っての情報宣伝も行っています。



## ポスターの掲示



ポスターは構内にある学生専用掲示板などに貼ってあります。重要な行事のお知らせなど学生のみなさんに関係するものが多いので、「見たことがないっ!!」という人はぜひ一度探してじっくり読んでみてください。

## 立て看板

B12棟前や白鷺門付近にある芝生に設置しています。情報宣伝をする時には必ず使っています。「見たことがないっ!!」という人はぜひ見てください。



### ※注意※

立て看板は非常に大きく、倒れると大怪我をする危険性があるので、必要以上に近付きすぎないようにしてください。

## 電子情報掲示板(WebSC)



大学の情報宣伝媒体の1つで、A3棟・B3棟・食堂などに設置してあります。大学生活に関する様々な情報が掲載されていますが、学生自治会の行事の日程なども掲載されることがあります。設置してある建物を利用する時にはぜひ見てください。またこの内容は、Web学生サービスセンターからも見ることができ、そちらにはより詳しい情報が掲載されています。

## 学館下装飾&横断幕

B12棟階段横の掲示板に大きなポスターを貼り出すことを学館下装飾と呼んでいます。また、B12棟2階学生自治会室の横にあるベランダの手すりに横断幕を貼り出しています。この2ヶ所にそれぞれポスター・横断幕を貼り出すことで情報宣伝を行っています。



## ◎情報宣伝・収集活動について

### 学生自治会のHP



現在学生自治会がどのような活動をしているのかを始め、学生自治会の最新の情報が盛りだくさんです。過去に配布した『NASCA』もHP上で見ることができます。また学生の意見をHP上でも収集するために掲示板を設置しています。メールでも意見を集めているので、いつでもみなさんの意見をお寄せください。

URL : <http://zichikai.ehoh.net/> →  
E-mail : [ziren@cd6.so-net.ne.jp](mailto:ziren@cd6.so-net.ne.jp)



## その他

他に『NASCA』以外の冊子『ご存知ですか？府大改革』の配布、アンケートの実施などがあります。この冊子は、当時十分な説明がされていなかった府大改革について、学生に情報を提供するために作成・配布しました。また上記の冊子を配る際には、この改革に対する学生の意見を調査するためにアンケートを実施しました。



今まで学生自治会は以上のような情報宣伝・収集活動を行ってきました。しかし、はじめに書いたように学生自治会に対する学生の関心は低下していると考えられます。そのため、今まで以上に積極的に大学や自治会活動についての情報宣伝・収集活動を行い、学生の関心を高めると共に、意見箱BOXやアンケートなどを通して学生が意見を発することのできる環境をつくれるよう努力していきます。

また、より多くの学生が関心を持って自治会活動に参加できるようにするために、現在行っている情報宣伝手段を包括的に見直し、改善あるいは新たな情報宣伝手段の模索をしていきます。学生自治会が学生にとってよりよい活動を行っていくためには、情報を発信・収集することで学生の現状を理解する必要があります。そしてそのためには、みなさん学生の意見が必要となっているのです。

**より快適な学生生活を実現するためにも**

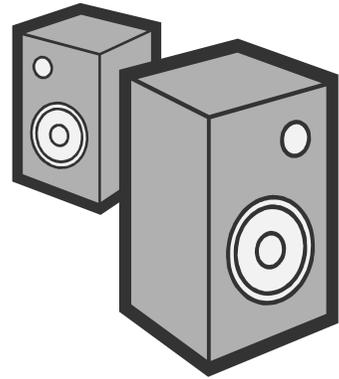
**みなさんの意見をお寄せください!!**



# あの～。“大型PA”って知ってますか？

## 大型 PA とは…

PA とは、Public Address（大衆告知）の略ですが、府大の中では慣習としてマイクやスピーカーを始めとした音響機器のことを指します。PA の使用・管理には、専門的な知識が必要なため、そういった事柄は全て学生団体である白鷺音響企画共同体（S. T. A. F. -1）が行っています。大学祭や昼のステージなどで使われているのを、一度は見たことありますよね？



## 大型 PA だって消耗するんです…。

大型 PA は一度購入すればずっと使えるというものではなく、当然“寿命”というものがあります。寿命が来てしまう原因は、その機器自体が自然消耗してしまうことと、修理の際に必要な部品が製造元で製造中止になってしまうことです。部品の製造が打ち切られてしまうと、故障した際に代替りの部品がなく、修理ができなくなってしまいます。

また、大型 PA の寿命はだいたい 10 年がめどと考えられています。そのため、学内のいろいろな場面で、いつでも万全な形で使えるようにするためには、寿命が来つつある大型 PA を新品に買い替えておく必要があります。そのために設置されているのが、右で説明している“大型 PA 再購入実行委員会”です！！

これまでに 2 度再購入が行われ、現在第 3 期再購入にむけて準備しています！

## “大型 PA 再購入実行委員会”って こんな委員会だ！！

“大型 PA 再購入実行委員会”とは、「大型 PA の修理や再購入を円滑に行えるようにすることで府大の学生の活動（大学祭・クラブの発表など…）を充実させ、大学を文化的に発展させること」を目指して活動している団体です。構成団体は中百舌鳥キャンパス学生自治会、白鷺祭実行委員会、友好祭実行委員会、白鷺音響企画共同体 S. T. A. F. -1、文化部連合、体育会、生活協同組合です。月に 1 度定例会を開き、購入機器の選定や、機材の現状確認などを行っています。また、年に最低 2 回総会を開き、活動方針や予算、購入機器の決定や役員選出を行っています。各団体は、再購入に向けてお金を出し合い、積み立てを行っています。もし次期再購入までに機器が故障するような事があっても、その積立金から修理費を支出するなどして、大学内の様々な文化的活動に影響が出ないように準備しています。

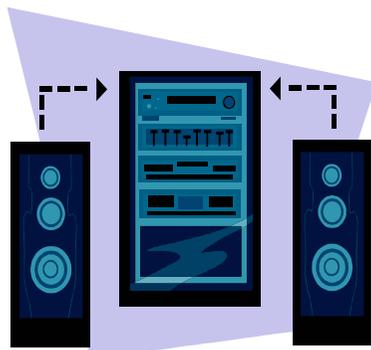
# 大型PA再購入の歴史

## 初代購入（～1988）

### 学生の要望と S. T. A. F. -1 の結成

1984年以前は、友好祭・白鷺祭・音楽系団体が大型PA機器を毎年レンタルして使用していましたが、レンタル料が高く、学生の大きな負担になっていました。そのため、これらの団体から学校所有のPA機器がほしいとの声が多く上がるようになり、学生自治会の前身である学生自治会連合が主体となって13の学生団体が学生課や後援会と交渉を行いました。その結果、「学生の要求である以上、学生団体の出資もやむを得ない」という結論に達しました。そこで、後援会と学生団体（学生自治会連合・白鷺祭実行委員会・友好祭実行委員会・文化部連合・体育会・生活共同組合）とで費用を分担する形で大型PAを購入することになりました。また、購入した大型PAを大学に寄付するかわりに、大学がメンテナンス代を支払うことになりました。

しかし、後援会が毎年100万円ずつ、4年間に渡って援助する方法をとったため、購入経費を完済するまでの4年間、大型PAの所有・管理・運用をPA管理運営委員会が行っていました。構成団体は府大学生部（現：学生センター）・学生自治会連合・友好祭実行委員会・白鷺祭実行委員会・文化部連合・体育会・生活協同組合です。ところが、大型PAの管理・運用には専門的な習熟した知識や技術が必要で、2年目から故障が多発してしまい、その機材の能力を十分に活かしきれなかったため、友好祭実行委員会・白鷺祭実行委員会・音楽団体から一定の人数を出して臨時にPA管理運営委員会運営班が作られました。そして、完済後大学に大型PAを寄付するにあたって、管理・運用体制の見直しが必要になりました。そこで、1987年にPA管理運営委員会運営班を母体に現在のS. T. A. F. -1が設立され、大型PAは大学が所有し、管理・運用はS. T. A. F. -1が行うことになりました。



## 第1期・第2期再購入（1990～2005）

### PA機器の所有者が大学から学生へ

大型PAの寿命は部品の劣化と製造期間の関係で約10年とされています。そこで1993年に大型PA再購入委員会（2002年に現在の大型PA再購入実行委員会に改称）を設立し、再購入について大学と交渉しました。その結果、後援会からの5年に渡る援助が決定し、第1期再購入を行いました（1994～1998年）。また、この際、大型PAの所有が大学からS. T. A. F. -1に移りました。

第1期再購入は後援会からの援助金のみで行いましたが、大学からの要請で第2期再購入は学生団体側も費用を負担することになりました。そこで構成団体は、1993～2002年の10年間の予定で積み立てを行いました。しかし、2005年の大学改革後の大型PAの所有・管理・運用があいまいであったため、当初予定していた2003年に再購入を見合わせ、2005年度以降に行う事を、2003年度の大型PA再購入実行委員会の総会で決定しました。その後、2004年度の総会にて、改革後も引き続きS. T. A. F. -1が所有・管理・運用を行うことが決まり、2005年に再購入を行いました。

しかし、積立期間が10年と長く、その間に役員の意識が低下してしまいました。そのため購入機器の選定が遅れ、後援会からの援助が受けられませんでした。そこで10年間の積立金に加え、第3期再購入に向けて構成団体から集めていた2年分の積立金（2003～2004年）を用いて再購入を行いました。しかし、この積立金を用いたため、大規模な修理に対応するだけの金額を残すことができませんでした。そこで大型PA再購入実行委員会は後援会と交渉し、故障が起これと予想される機材のうち、特に緊急性の高いものを購入してもらいました。

## 第3期再購入（2006～現在）

### 積立期間の短縮と分割購入

第2期再購入では、機材を一斉に購入するという方法を探りました。しかしこの方法では、積立期間中の故障や、物価の変動に十分な対応ができませんでした。そのため、第2期の購入方法を改める必要がありました。そこで定例会にて第3期の購入方法について話し合い、積立期間を5年（2006～2010年）に短縮し、機材を分割購入する方法を考えました。この方法だと、従来の方法よりも役員の意識が低下しない、大型PAの故障や物価変動に比較的対応できるなどの利点があります。この案は2006年度の大型PA再購入実行委員会の総会にて承認されました。そして大型PA再購入実行委員会は、今年2010年の再購入に向けて積み立てを行ってきました。

しかし、分割購入するにしても積立期間中に故障し、修理や購入が必要になる可能性があります。そのような場合には、積立金を崩して使用する、後援会に援助を求めるなどしていきます。2007年には実際に機材が故障したので、後援会に交渉して修理に必要な部品を購入してもらいました。



# 決議にみる大型PAのこれから

## 今年度8月、いよいよ再購入へ。

最後に、「2010年度前期自治委員会総会決議」での大型PA再購入実行委員会のこれからの活動の項目を見てみましょう。

大型PA再購入実行委員会は、7月の総会で購入する機器を決定し、8月に第3期再購入を行います。また老朽化により廃棄することになった機器に関しては、学内の学生団体からの希望により譲渡される予定です。加えて、これまでと同様に月に1度定例会を開き、第4期再購入に向けて話し合いを行っていきます。また、第4期再購入までに機器が故障した際には、大型PA再購入実行委員会の積立金から修理費を支出する、または後援会に援助を求めるなど、柔軟かつ早急に対策を講じます。

つまり、大型PAの第3期再購入がようやく今年度8月に行われるのです。しかし、みなさんがこのPAの再購入に直接関わることは、ほとんどないかもしれません。ですが、前のページにもあるように大型PAは大学内の文化的発展に大きく関わっているのです。いつか大型PAを使用する機会があった時には、ぜひそのことを思い出して大型PAを大切に扱ってくださいね！



# その他にも には

## こんな項目がありました!!

### 学生団体連絡会議

現在学内の11の学生団体が参加している学生団体連絡会議(以下、学団連)とは、学生団体間での情報交換や、1つの学生団体では解決が困難な問題に対処するために、月に1度行われている会議のことです。例えば全学新歓実行委員会や七夕祭実行委員会はこの会議によって発足し、各団体の協力の下で活動しています。学生自治会では、活動場所として学生自治会室を提供する、実行委員として役員が参加するなどの形で協力しています。これからも学生自治会は月に1度、学団連を開いていきます。

また、学団連の構成団体は月に1度、学生センターとの話し合いを行っています。この話し合いの中では、部局長連絡会議と教育研究会議の報告を通じて大学の状況を知るとともに学生の意見を伝えています。

### 立て看板管理局

立て看板管理局は、よく学内各所に立っている、あの“立て看板”を管理している団体です。この団体は学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会で構成されています。立て看板管理局は主に、立て看板の利用団体にマニュアルを渡して注意を促す、また強風時に立て看板を倒すなどして、立て看板の安全な管理・運用を行っています。また、大学祭のステージで用いられるステージバックも、立て看板とあわせて管理・運用を行っています。

最近、立てるためのロープがゆるかったり、ペグと呼ばれる杭の打ち方が間違っていたりと、立て看板の立て方が悪いことがあまりにも多いです。立て看板は立て方を間違えると、倒れたり飛ばされたりして、非常に危険です。そのため、1度講習会を開く予定です。それでも立て看板の扱いが悪い団体には、使用停止などの処分を考えています。立て看板はみんなで使うものなので、これからも大切に扱っていきましょう!!

## ステージ管理委員会

ステージ管理委員会は、昼休みや大学祭のときにみなさんがよく使うステージの管理をしています。この委員会は、学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会で構成され、ステージの補修や購入を検討するとともに、クラブやサークルなどの利用団体が安全に利用できるようにステージの管理・運用を行っています。

ステージの老朽化により、今年度夏季にステージの再購入を行います。また、ステージの管理は、ステージ管理委員会内のステージ管理局が行っていきます。そして、ステージの安全な管理・運用を行うために、今までの管理方法を見直し、新たに管理マニュアルを作成します。

また、これまでステージに勝手に上がるなど、ステージがぞんざいに扱われるという現状がありました。そのこともステージの老朽化を早めたと考えられるので、今後ステージを正しく使用しなかった、もしくは故意に破損させた場合には罰則を科し、そのようなことが繰り返されないように努めます。

そして、今後ステージ管理委員会は月に1度定例会を行い、ステージの現状を確認し、第2期再購入に向けての話し合いなどを行っていきます。

## 工学部教員紹介冊子

「冊子を通じて工学部の学生に教員を紹介し、親しみを持ってもらう。また研究室に興味を持ってもらうことで気軽に研究室を訪れ、日頃から抱く意見を教員に直接伝えられるようにする」ことを目的に工学部教員紹介冊子というものを発行しました。

しかし、一部の学科においては、既に学生に研究室や教員を紹介する機会を設けているといった理由により、教員の協力を得ることができませんでした。それを踏まえて、このような学科では冊子を作成することが難しいと判断し、作成しませんでした。

また、配布と同時に冊子に関するアンケートを行いました。これをもとに反省を行い、次の活動に活かしていきます。

➡ 昨年度は工学部だけでしたが、他の学部もしくは全学的に「よりよい学生生活」を実現させられるような活動をしたいと考えていますので、何か学生生活をよりよくするためにいい活動のアイデアがあれば、ホームページの掲示板、またはメールで「氏名、学科、学年、学生生活で改善したい点、考えている活動の内容」を書いてぜひお寄せください。学生自治会でそれを検討し、結果を報告させていただきます。みんなで一緒に学生生活をよりよくしていきましょう!!

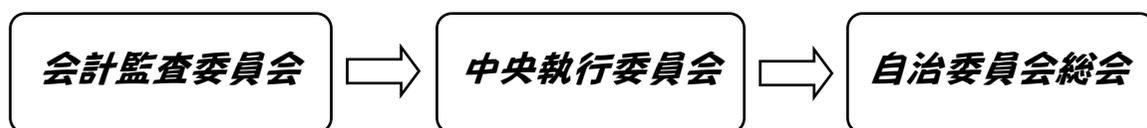
# 決算報告

# 予算案提議

学生自治会は、学生のみなさんからお預かりした自治会費で学生全員のよりよい学生生活を実現する活動を目指しています。したがって、自治会費の使い方は学生全員で決めるべきものです。前期自治委員会総会では、この1年間で自治会費をどのように使ったのかを報告する決算報告と、これからの1年間でどのように自治会費を使うのかを示した予算案提議を行いました。そして、この予算が、学生のみなさんに判断してもらうために採決を行い、今年度予算が可決されました。ここでは、決算報告や予算案提議に関わる学生自治会の会計について説明します。

## 会計資料の確認体制

自治委員会総会で報告される決算は、以下の手順を踏んだ上で報告します。



前期自治委員会総会で報告される決算は、学生自治会の書記局が編成し、前年度の前期自治委員会総会で選出された会計監査委員の監査を受けます。会計監査委員は、領収書や明細書を確認し、学生自治会の会計に不正や誤りがないか、用途が明瞭であるかを監査します。その後、中央執行委員会（P.2 参照）が、決算や予算案などの会計に誤りがないかを確認します。学生自治会の会計は、自治委員会総会で学生のみなさんに正確な情報が提示されるために、このような手順を踏んでいます。

# 会計項目と予算・決算

決算報告や予算案提議の際には、会計資料を配布します。ここでは、その会計資料の項目と、今年度の決算報告・予算案提議の主な内容を、収入と支出に分けて説明します。なお、書面だけでは十分な説明ができず、正確な情報が伝わらない恐れがあります。そのため、具体的な数字などの詳細はここでは掲載していませんが、何か不明な点・疑問に思ったことなどがあれば、B12 棟学生会館 2 階の自治会室に来ていただければ、担当者が資料とともに説明します。

## 収入の部

### 自治会費

入学手続き時に、みなさんからお預かりした自治会の加盟費です。年間 1750 円を、4 年分（獣医学科は 6 年分）一括してお預かりしています。

### 利息収入

自治会費を銀行に預金していることで発生する利息です。

### 印刷収入

自治会室のコピー機や印刷機の私的利用の使用料です。使用料は、使用に際して消費されたインク・マスター・トナー・用紙の補充にのみ充てています。

昨年度に学生会館の印刷機が故障し、いくつかの学生団体が自治会室の印刷機を使わざるを得ないという事情があったため、例年に比べ、決算では大幅に増額となりました。また、近年のコピー機・印刷機の私的利用の状況を鑑み、今年度予算は増額としました。

### 〇A 機器購入費

パソコンの部品などの購入に際して、毎年必要分を支出項目の「積立金」として計上している「〇A 機器購入費」から、購入に必要な分を収入に充てています。

今年度は、学生自治会が保有しているが老朽化していることから、買い替えを予定しています。



## 繰越金

前年度からの繰越金です。

## 支出の部

### 執行費

学生自治会が主催する行事のために使われる「行事主催費」と、2010年度新入生の学部・学科オリエンテーションの際に行われたクラスオリエンテーションで配るパンとジュース代に充てられた「クラスオリエンテーション費」の2項目です。

昨年度の行事主催費は、立て看板の修理・新造にかかった費用を計上しています。今年度の行事主催費の具体的な用途は決定していませんが、学生自治会は学生生活をよりよくするための新たな活動を検討しているため、今年度予算も、昨年と同額としました。



### 援助金

学内の学生団体への援助金です。各団体の活動が「学生生活をよりよくすることにつながっている」かつ「各学生団体が活動を行っていくには学生自治会が行う様々な援助のほかに、援助金という形で金銭面の協力も必要である」と学生自治会が判断した団体に援助しています。昨年度は以下の団体に援助しました。

全学新歓実行委員会 七夕祭実行委員会  
文化部連合 白鷺音響企画共同体 S. T. A. F. -1  
白鷺祭実行委員会 友好祭実行委員会  
大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科学生自治会

これらの援助団体の会計処理がその活動に沿った支出であるかどうかは学生自治会が責任を持って監査しており、各責任者との話し合いを通じて援助額を決定しています。ここでは、特に例年と異なる事情があった団体について説明します。

## **七夕祭実行委員会**

七夕祭実行委員会への援助金は、昨年度、企画で使用する小集会室の冷房が故障し、冷房をレンタルすることが必要となるトラブルがあり、増額しました。しかし、後援会にレンタル費を援助していただくことになったため、今年度はその分を減額としています。

## **大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科学生自治会**

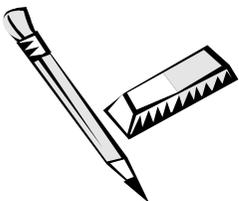
大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科学生自治会とは、人間社会学部社会福祉学科の学生を対象に活動を行っている自治会です。今年度は白鷺祭本祭典中に「社福祭」という企画を出展するなどしましたが、活動が縮小した現状に即して、援助金は今年度予算を減額としました。

## **友好祭実行委員会**

昨年度の友好祭本祭典は新型インフルエンザ防止のため行われませんでした。準備段階での活動経費はかかっています。友好祭実行委員会と学生自治会の会計年度の都合上、本祭典が中止になった影響が昨年度の予算編成時には分かりませんでした。そのため、昨年度は減額していません。また、本祭典中止により、後援会からの友好祭への援助が無くなったため収入が減少し、例年通りの援助を行わないと今後の活動が困難になるということが判明したため、例年通りの援助をしています。

### **書記局費**

書記局費とは、自治会内での事務費で、「事務経費」「OA機器購入費」「OA機器諸経費」「印刷用紙」「備品」「コピー機・印刷機等維持費」「新聞書籍購入費」「通信費」「研修費」の9項目です。



### **事務経費**

事務経費とは、模造紙・のり等の、様々な事務用品の購入費です。現状を考慮し、今年度予算では減額としました。

## 〇 A 機器購入費

〇 A 機器購入費は、学生自治会が保有しているパソコンの部品に関する購入費です。学生自治会が保有しているパソコンは旧式であるため、昨年度予算では修理等が必要である可能性を考慮した予算を立てていましたが、故障などはなかったため、支出がありませんでした。



## 〇 A 機器諸経費

〇 A 機器諸経費とはパソコン周辺機器の購入費です。昨年度は、プリンタ用のトナーにかかる費用を支出しました。

## 印刷用紙

印刷機を利用する際に必要な用紙の購入費です。今年度予算は現状に即し、増額しています。

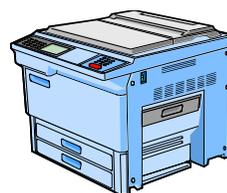


## 備品

備品は、机や椅子等の購入費です。昨年度は老朽化した机の購入を予定していましたが、今年度にパソコンを買い替える予定があり、それに合わせて購入する机を選定するほうが良い、と判断したため、昨年度の支出はありませんでした。

## コピー機・印刷機等維持費

コピー機・印刷機等維持費とは、コピー機と印刷機のマスター・インク代やそれらの保守費です。今年度予算も、昨年度と同額としています。



## 新聞書籍購入費・通信費



新聞書籍購入費とは、情報収集のために購入する新聞・書籍の費用です。昨年度は書籍の購入は行わなかったため、新聞代のみが計上されています。

通信費は、電話代とインターネットの接続料金です。いずれも情報宣伝・情報収集活動のために必要であると判断し、支出しています。

## 研修費

昨年度の研修費は、役員が中百舌鳥キャンパス外に赴く際の交通費のみを計上しています。特に、りんくうキャンパスに存在する学生会の人数不足が顕著である現状で、りんくうキャンパスの現状を把握する・アンケートを実施するなどの活動を行うことは必要不可欠だと考え、支出しました。その他、入学式終了後にクラブ紹介の新生歓迎企画を実施した際に入学式会場へ赴く際の交通費も、ここに計上しています。



## 積立金

積立金は「大型PA再購入実行委員会積立金」「ステージ管理委員会積立金」と、自治会が保有しているコピー機や印刷機、OA機器を再購入するために自治会内部で積み立てている「次期コピー機・印刷機購入費」の3項目です。ここでは、「大型PA再購入実行委員会積立金」「ステージ管理委員会積立金」について説明します。

## 大型PA再購入実行委員会積立金

大型PAとは、学園祭やクラブ・サークルなどの課外活動に幅広く使用される大型の音響機器のことです。学生自治会は、大型PAは大学内の文化的発展に大きく貢献しており、これらを購入することで、学生にとって大学がよりよい環境となると考えます。そこで、この委員会の積み立てにおいて、学生自治会も再購入のための費用を積み立てています。

## ステージ管理委員会積立金

ステージ管理委員会は「ステージの補修や購入を検討するとともに、クラブやサークルが安全に利用できるようにステージの管理・運用を行っていくこと」を目的に学生自治会・白鷺祭実行委員会・友好祭実行委員会の3団体により設置されました。今年度の積立金は、ステージの価格が昨年度に見積もっていたよりも高くなることが判明したため、増額としました。

## 繰越金

収入総計から支出総計を引いた額です。



学生自治会の予算は、その活動において執行されます。しかし、学生自治会の活動は学生の意見を基に決定するため、より学生のためになる自治会費の使い方にするためには、みなさんの声が必要です。学生自治会の活動を充実させ、自治会費がよりよい形で学生に還元されるように、ひいては大学生活をより快適に送るために、ぜひ学生自治会について理解を深め、意見を発して下さい。

なお、2010年度前期自治委員会総会の感想文用紙に、多くの学生から意見・質問が寄せられました。それらの中の決算・予算についての意見・質問への回答は、この冊子のP.26に掲載しています。また、この冊子では回答できなかった項目に関しては、後日、学生自治会のHP (<http://zichikai.ehoh.net/>) にて回答します。

みなさんの

質問



に

回答



いけん

します!

## はじめに

先日、6月17日に2010年度前期自治委員会総会が開催され、そこで多数の意見・質問が感想文用紙に寄せられました。ここでは、それらの意見・質問とその回答を載せています。ここを読めば、学生自治会に関するあなたの疑問が解消されるかもしれません。また、自治委員会総会や学生自治会のことをあまり知らない方も、学生の疑問や意見、それらに関する回答を読んでぜひ理解を深めてください。

### No.1

総会開始時間が35分遅れでした。今後、このようなことがないように改善して下さい。

——今回の総会開始が大幅に遅れた主な原因として、当初の予想を大幅に超える参加人数のため議員証が足りなくなったことと、受付の対応の不手際が挙げられます。今後は受付方法の包括的な見直しを軸に、十分な数の議員証の準備などをし、開始が遅れることのないよう改善に努めていきます。

### No.2

「NASCA」という冊子があるとは知りませんでした。学科によって配布がまちまちなのですか？

——現在「NASCA」の配布は、全学科の必修授業開始直前に配布し、研究室に配属されている学生に対しては研究室に直接配布しに行くという方法をとっています。配布した時の必修授業を欠席した学生や、教授に配布を断られた研究室に所属している学生には、「NASCA」を配布することはできていません。今後、そういった学生にも配れるよう検討していきます。

## No.3

**なぜ、工学部にだけ教員紹介冊子が配られるのですか？**

——工学部では、学部長を選挙によって選出しており、かつてはその選挙に学生も参加することができました。しかし、大学法人化とともにこの制度は廃止され、学部運営に学生が関わる機会が失われてしまいました。そこで、学生自治会は工学部教授会執行部との話し合いを通じ、学生が学部運営に関わることでできる新たな方法を模索してきました。その話し合いで、学生が学部長選挙に参加できない環境下で学生の声を学部運営に反映させるためには、学生が直接教授に意見を言うことが有効な方法であると考えられました。しかし、学生が研究室を敬遠している現状を鑑みる限りそれは難しいとされました。そこで、2008年度後期自治委員会総会にて「冊子を通じて工学部の学生に教員を紹介し、親しみを持ってもらおう。また、研究室に興味を持ってもらうことで、気軽に研究室を訪れ、日頃から抱く意見を教員に直接伝えられるようにする」ことを目的に、工学部教員紹介冊子が作られることになりました。

## No.4

**なんで人間社会学部社会福祉学科学生自治会（以下、社福自治会）が存在するのですか？**

——2005年度の大学統合・法人化を機にそれまで各学部が存在していた学生自治会が統合され、現在の中百舌鳥キャンパス学生自治会が結成されました。その際、社会福祉学部学生自治会からは、独自に活動したいとの申し出があったため、社会福祉学部学生自治会は現在の社福自治会として、統合されずにそのまま残ることになりました。

## No.5

**風が強い日は立て看板を立ててはいけないことになっていますが、その基準は何なのでしょう？**

——立て看板を立てる基準として、天気予報にて堺市の風力が4以上6未満ならば立て看板を倒し、6以上ならば倉庫に撤去すると定めています。そのため、風を弱く感じてでも予報での風力が強い日は立てられません。また、風力が4未満でも風を強く感じる日は立て看板を倒す事になっています。

## No.6

立て看板のマニュアルはどこでもらえるのですか？

——自治会室に来ていただければ、いつでも渡すことができます。

## No.7

ステージを再購入するとのことですが、もとあったステージはどうなるのですか？

また、ステージ管理委員会が設ける罰則とはどういったものなのでしょうか？

——老朽化したステージの処理については、保管場所の問題もあり、現在検討中です。罰則については具体的には決まっていますが、決まり次第周知するようステージ管理委員会に働きかけます。

## No.8

大型 PA 再購入実行委員会の構成員を教えてください。また、実際にどのような話し合いがおこなわれているのでしょうか？

——大型 PA 再購入実行委員会は、学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会、生活協同組合、S. T. A. F. -1、体育会、文化部連合の7団体で構成されています。委員会は、月に一度定例会を開き、どの PA 機器を再購入するのか、再購入の時期、廃棄機材の扱いや予算などについて話し合っています。

## No.9

老朽化している PA 機材はどの学生団体に譲渡されるのでしょうか？

——予定としては、希望のあった団体に譲渡されることとなっています。譲渡される機材、団体については、7月の大型 PA 再購入実行委員会の総会にて正式に決定されます。

## No.10

これまでに実現した要望を明示してほしいです。

——2009年度要望書交渉で実現した要望は、図書館の利用時間の延長や食堂の増改築、歩道の破損している部分の修繕などがあります。また昨年度より以前には、図書館や各講義室へのクーラーの設置やシュライクの設置、授業料の現額維持、教育研究費の増額などが実現されてきました。

## No.11

**耐震強度がやばい建物があるとききましたが、建替え工事をしてほしいです。**

——大学のキャンパスプランによれば、基本的に一年に一棟のペースで建替えているそうです。また今年度の夏から、耐震強度が基準を満たしていないいくつかの棟を封鎖し、改修工事をする予定です。

## No.12

**クラスオリエンテーション時に1回生に渡すパンとジュースは必要なのでしょうか。**

——クラスオリエンテーションは学部・学科オリエンテーションのある日に行われますが、その日は学科ごとの写真撮影などもあり時間的余裕がありません。そのため、昼休憩時にクラスオリエンテーションを行う学科も少なくないため、そのような学科の新入生に対して何らかの配慮が必要だと判断し、パンとジュースを配布しています。

## No.13

**執行率の低かった項目に関して、繰り越された金額は今期どのように使われるのでしょうか。無駄をはぶき、節約に努めることは良いことですが、もう少し有意義に予算を使用できるよう、各委員会での予算の組みなおしを求めるべきだと思います。**

——学生自治会は、今後の活動を拡大・充実させていき、自治会費が学生に還元される形で繰越金の消化を図っていきたいと考えています。

## No.14

**社福自治会の予算案での「現状に即す」とはどういうことでしょうか。**

——昨年度の社福自治会の活動は例年に比べ縮小していました。今年度は昨年度と同程度の活動のみ行うとの報告を受けたため、今年度予算は減額することとしました。

## No.15

白鷺祭の方が友好祭より規模が大きいと聞いたのですが、予算は双方でそんなに変わらないのはなぜですか。

また、昨年の友好祭は中止になりましたが、その予算 130 万円はどうなったのですか？

——各団体の会計処理がその活動に沿った支出であるかどうかは学生自治会が責任を持って監査しています。援助額は各団体の決算や活動予定の報告を受けた上で、各責任者との話し合いを通じて決定しています。また、白鷺祭実行委員会と友好祭実行委員会では活動の理念・内容が異なっており、学生自治会は各団体が充実した活動を行うために必要な額を援助しています。

昨年の友好祭本祭典は中止になりましたが、準備の際にも多くの費用がかかっています。さらに、本祭典を中止したため、後援会からの援助が無くなり収入が減少しました。そのため、学生自治会からは例年通りの援助を行わないと今後の活動が困難になるということが判明したため、この予算額としました。

## No.16

会計資料自体にメモをとりたいと思います。角印の有効性のために回収するというのもわかるのですが、不便というか、資料の内容が十分に頭に入らないです。せめて採決の時まで資料を手元に残しておいてほしいです。

——決算報告・予算案提議に関する質疑応答の直後に、学科・学年ごとの話し合いや座席移動があります。そのため、決算報告・予算案提議に関する質疑応答の後に回収しなければ、会計資料を厳に扱うことが困難となってしまいます。申し訳ありませんが、メモ等はパンフレットのメモ欄をご利用ください。また、資料回収後に不明な点があれば、全体を通した質疑応答の時間に発言することができ、その場で担当者がお答えしますので、ご理解ください。

## No.17

パソコンを購入するとのことですが、何台購入する予定なのでしょうか。予算の 30 万円はもし 1 台なのであれば少し多い気がします。

——パソコンは 3 台購入する予定なので、この予算額としています。

## No.18

2010年度の学生自治会費収入が例年より80万円ほど少なく、繰越金も150万円ほど減っていました。学生団体支援金を減らすと、大学の価値が下がると思うのですが、今後どうする予定なのでしょうか。

——2010年度の学生自治会の加盟人数は、例年に比べ減少しました。学生自治会は、この現状を認識し、今後学生に学生自治会に加盟することの重要性と、その活動を理解していただけるように努めます。

## No.19

学生自治会主催費について何か使用予定の企画はあるのでしょうか。去年までは生環自主入学式があったために使われていたとお聞きしましたが、現時点で何も無いのであれば決算を見て予算額を下げるべきではないかと考えますがいかがでしょうか。逆に何かあるのであれば、説明していただけると幸いです。

——今年度の行事主催費の具体的な用途は決定していませんが、学生自治会は学生生活をよりよくするための新たな活動を予定しています。そのため、今年度予算は昨年度と同額としました。

## No.20

「書記局費」の通信費についてで、インターネット接続料というのがありますが、これは学生自治会室でのインターネット接続料ですか。そのインターネットは自治に関してどのような使用をしているのでしょうか。絶対に必要なものなのでしょうか。

——学生自治会室のパソコンをインターネットに接続することは、学生自治会の情報宣伝・情報収集活動や学部組織との連絡・情報交換のために必要不可欠であると判断したため、支出しています。

## No.21

2010年度印刷収入の増加が盛り込まれていましたが、もう新しいリソ機が届いているので、印刷収入はそこまで見込めないのではないのでしょうか。

——2010年度は学生会館の印刷機が故障したことが、印刷収入に大きな影響を与えました。しかし、近年、学生自治会室の印刷機を使用する団体が増加している傾向にある現状を踏まえ、今年度予算は例年に比べ増額としています。

## No.22

印刷収入に関して、リソグラフのマスターとインク代について教えてほしいです。マスターは1回の使用（製版）あたりにおよそ何円で計算しているのか、インク代は1枚あたりおよそ何円で計算しているのか公表してほしいです。

——学生自治会室のリソグラフの製版料は1回35円、インク代は1枚1円として  
います。

## No.23

羽曳野キャンパスにも自治会が存在するそうですが、それに対する中百舌鳥キャンパス学生自治会からの援助等はないのですか？

——羽曳野キャンパスには、中百舌鳥キャンパス学生自治会とは別に、独立した学生自治会が存在します。羽曳野キャンパスは大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学生自治会規約により学生自治会の活動対象に含まれていませんので、援助等をする  
ことはありません。

## おわりに

いかがでしたか？ みなさんの疑問は解消されたでしょうか。先日の自治委員会総会の感想文用紙には、このような意見・質問の他に、学生自治会に対する要望も寄せられました。それらは、今後の学生自治会活動の参考にさせていただきます。感想文用紙に記入してくださった方々、ありがとうございました。また、本誌には寄せられた意見・質問の一部しか記載できませんでしたが、学生自治会HPには全ての意見・質問とそれらに対する回答を載せる予定です。そちらもぜひご覧ください。

本誌を読んで総会や学生自治会へ興味が湧いた方は、ぜひ今後の自治委員会総会や自治会活動へ参加してください。まだ疑問が残っていたり、新たに意見や質問を思いついた方は意見箱やHPなどを利用し、学生自治会までお伝えください。もちろん、直接学生自治会室に来ていただいても構いません。

みなさんの意見・要望をお待ちしております！

# 熱中症にご用心！

毎年熱中症による事故が発生していますが、熱中症は適切な予防をすれば防げるものです。熱中症は、運動部の人だけが発症するものではありません。普通に日々を過ごしている私達にも熱中症にかかる危険性があるのです。予防法を知り、きちんと自己管理ができるようになりましょう！



## 1. 熱中症って??

熱中症は主に暑い環境で発生する症状の総称で、以下の4種類に分類されます。

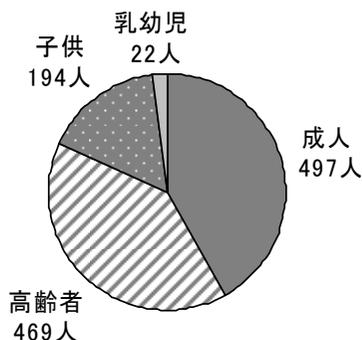
	熱失神	熱疲労	熱けいれん	熱射病
症状・兆候	<ul style="list-style-type: none"> <li>めまい・失神</li> <li>顔面蒼白</li> <li>脈が速くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大量の発汗</li> <li>皮膚が青白い</li> <li>喉の渇き</li> <li>頭痛・めまい</li> <li>吐き気・嘔吐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脚、腕、腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発汗が無いのに皮膚が赤く熱っぽい</li> <li>嘔吐・意識障害</li> <li>錯乱・昏睡</li> <li>全身のけいれん</li> </ul>
処置法	<ul style="list-style-type: none"> <li>涼しい場所に移動させ、衣服をゆるめて安静にさせる</li> <li>水分補給を十分に行うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処置法は熱失神と同じだが、嘔吐により給水できない場合は病院で点滴を打つ必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理食塩水や薄めたスポーツドリンクを与える</li> <li>けいれんが起きた部分のアイシングなども有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すぐ救急車を呼ぶ</li> <li>意識があれば給水</li> <li>全身のアイシングで体温を下げるのが重要</li> </ul>

※アイシング＝氷や水などを用いて、局所的に冷却すること

脱水状態では発汗ができないので、汗をかいていない・体温が高くない状態でも熱中症の可能性がります。熱中症は自覚症状がほとんどありません。「おかしい」と自覚したときにはもう手遅れという事もあるので、十分に注意しましょう！

## 2. どれくらい発生しているの？

平成21年9月の全国における熱中症による救急搬送人員は1182人でした。全体を世代別に区分してみると、成人が497人(42.0%)と最も多く、次いで高齢者が469人(39.7%)となっています。つまり、中高生よりも私達の方が熱中症になる危険が高いのです！



### 3. 熱中症を引き起こしやすい条件は？

#### ○熱中症を起こしやすい人

- ・ 睡眠不足の人
- ・ 脱水症状のある人（前日に飲酒した人は要注意！！）
- ・ 体格の大きい人（太っている人に限らず、筋肉質な人も当てはまります）
- ・ 暑さに慣れていない人（暑い場所に行って2～3日目、あるいは休暇明けなど）
- ・ 病気の人、体調が悪い人（風邪を引いている人、下痢気味の人など）

#### ○熱中症になりやすい状態

- ・ 前日に比べ、急に温度が上がった日
- ・ 気温自体は低くても、多湿な場合
- ・ ずっと室内にいた人が、急に屋外で活動した場合  
（統計的に発症しやすい時間帯は10時・13時・14時頃）

これらに当てはまらないからといって、熱中症にならないわけではないではありません！



### 4. 熱中症の予防法

- 活動前・中に、内臓（胃など）の負担にならない程度に、極力多くの水分を取ること
- 発汗によって失った水分・塩分の補給をこまめに行うこと

※ 水分ばかり摂ってもダメなのです。

適度に塩分などの電解質も摂らないと体液の塩分濃度が希釈されてしまい、逆に身体によくありません。

- 睡眠も含めて、その日のコンディションを把握すること

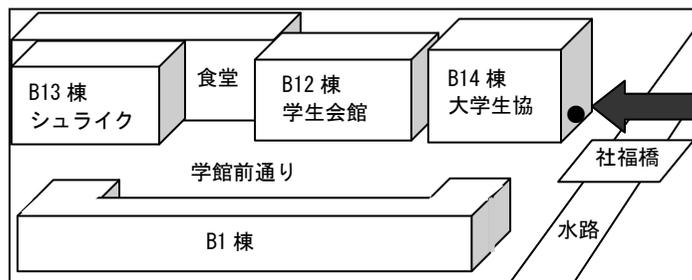
#### ○体感温度を下げること

- ・ 直射日光を防ぐ（帽子をかぶる、薄手の長袖を着る、など）
- ・ 風に当たるようにする
- ・ 水の気化熱を利用する（霧吹きなどで水を吹きかける、など）

### 5. 万一 熱中症になってしまったら

発症した時は、速やかに病院へ連れて行くか、救急車を呼びましょう。

応急処置としては、涼しい場所へ運んで前ページのそれぞれに合わせた対応をするのが一番ですが、なかなかそうもいきません。対処法が分からないなど何か困る事態が起きたら、中百舌鳥キャンパス内にある**健康管理センター（保健室）**に行きましょう！！



健康管理センターはこの2階です！



※健康管理センターは、来年2月に移設予定があります。

参考資料

スポーツ現場における熱中症について：Cramer Japan  
([http://www.cramer.co.jp/care/heat\\_illness.html](http://www.cramer.co.jp/care/heat_illness.html))

平成21年9月の熱中症による救急搬送の状況  
([http://www.fdma.go.jp/pdf/2009/1029/01\\_houdou.pdf](http://www.fdma.go.jp/pdf/2009/1029/01_houdou.pdf))

熱中症を防ごう / スポーツ医・科学 - 日体協  
(<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/guidebook1.html>)



**緊急!**

# 中百舌鳥キャンパスの警備が 強化されました!!

6月1日深夜、府大構内で自転車に乗って帰宅途中の大学院生が16~18歳とみられる2人組の男に襲われ、現金1万円が入った財布を奪われるという事件がありました。

また、今年に入ってから2月に体育部室が放火と見られる火災でほぼ全焼し、5月の大型連休中には盗難の被害はなかったものの、8研究室の扉が破られ、またその後には6研究室において現金6800円が盗まれるという事件がありました。

そして、最近でも施錠していない学生ロッカーが荒らされるなどの被害が続いており、大学は学内の巡回強化や防犯カメラの増設など、学内の安全管理を見直す方向で検討しているようです。

その見直しの一環として、6月下旬から警察官による立ち寄り警戒や、警備員によるキャンパス内の巡回警備や中百舌鳥門守衛室での待機が行われるようになりました。詳しくは、学生ポータルにて大学から学生向けに文書が出されていますので、そちらをチェックしてみてください!!

万が一、大学構内で不審者を見かけたり、事件にあったりした場合は、速やかに守衛室(直通 072-254-9106)に連絡するようにしてください。

他にも現在、大学に無断で、教室や白鷺門・中百舌鳥門前で家庭教師や塾講師のアルバイトの登録用紙やアンケートを配布して、学生のメールアドレスなどの個人情報収集されるような事態が多発しています。大学の承認印がない配布物は、配布が認められていませんので、こういった無許可の配布物には一切応じないように注意してください。その他、無許可掲示物などを見つけた際には、直ちに学生サポートグループ (TEL 072-254-8390)まで連絡するようにしてください。

参考資料：  
強盗傷害事件の発生並びに個人情報流出に注意を.doc  
警察官による学内立寄り警戒について(依頼).doc  
警備員による夜間常駐警備の実施について(お知らせ).doc

以上の資料はすべて学生ポータルで閲覧することができます。

# 要望アンケート

実施期間：10月上旬～11月上旬（予定）



学生が抱く要望は人によって多様であり、それらをバラバラに大学へ訴えても、大学がどの要望を優先させて実現させるべきかを判断することは困難だと考えられます。そこで学生自治会は、要望アンケートで学生の要望を集め、中でも切実な要望を要望書という形にまとめ、学生の総意として大学に訴えています。このようにして大学に要望を訴えることで、要望の実現をより現実的なものとします。

**みなさんの要望を実現させるためにも、要望アンケートにご協力ください！**

なお、学生自治会は、意見箱 BOX や学生自治会の HP でも随時意見・要望を集めております。B12 棟学生会館 2 階の学生自治会室でもお話を伺いますので、気軽にお越しください！

2010 年 7 月 2 日 初版 第一刷発行

発行所・印刷所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学生自治会  
大阪府堺市中区学園町 1-1  
大阪府立大学中百舌鳥キャンパス  
B12 棟（学生会館）2 階 学生自治会室

TEL : 072-257-4301（内線 2745）

FAX : 072-257-4301

E-mail : ziren@cd6.so-net.ne.jp

URL : <http://zichikai.ehoh.net/> 携帯では⇒



乱丁・落丁はお取り替えします。B12 棟 2 階の自治会室までお越しください。